

「春の植物さがし」開催レポート

令和8年4月22日（水） 柳原千草園

昨年秋に引き続き、四季折々の植物が植えられている「柳原千草園」にて講座を開催しました。緑の協力員（区長から委嘱された自ら緑化に関する知識を収集し、緑化に努めるボランティア）が、樹木等の解説をしながら公園内を巡りました。おみやげに押し花しおりの作成も行いました。

講座の目的

- ・植物の面白さ、不思議さ、魅力などを伝える。
- ・公園を散策しながら身近なみどりに感じ楽しむことで、日々の生活に潤いを持つ。

講座ハイライト



解説をよく聞きながら、樹木の特徴を観察しました。

サルスベリ
（百日紅）



木登りが得意なサルでも落ちてしまいそうなほど、幹肌がツルツルなことが由来。7月頃から花を咲かせる。



タラヨウ
（多羅葉）

葉裏に文字が書けることからハガキ（葉書）の語源。郵便局の木として制定され「ハガキの木」とも呼ばれる。



最後に足立区役所の花壇で採れた花を使って押し花しおりを作りました！

講師の方、一人一人に個性があり、楽しく聞かせて頂きました。（70代）

何となく植物を見ていたので、葉のつき方、花や実のことなどに注目して見ることの大切さがわかりました。（70代）

近くても何年も来てない千草園です。季節毎に出掛けたらと思います。（70代）

参加者の声